

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 23 年 10 月 6 日 (2011.10.6)

【公開番号】特開 2011-146127 (P2011-146127A)

【公開日】平成 23 年 7 月 28 日 (2011.7.28)

【年通号数】公開・登録公報 2011-030

【出願番号】特願 2011-100504 (P2011-100504)

【国際特許分類】

G 1 1 B 7/007 (2006.01)

G 1 1 B 7/004 (2006.01)

G 1 1 B 7/24 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/007

G 1 1 B 7/004 Z

G 1 1 B 7/24 5 2 2 P

G 1 1 B 7/24 5 7 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 5 日 (2011.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の記録層が形成された 1 回データが書込可能なライトワンス型光記録媒体であって、複数の各記録層における所定位置に、データが記録されるブリライトエリアが設けられていると共に、上記各記録層における上記ブリライトエリアに上記データが記録済であるか否かを示す記録済判別情報を記録する判別情報記録領域が設けられ、上記判別情報記録領域に記録される上記記録済判別情報は、上記各記録層のそれぞれに 1 ビットが対応して、上記 1 ビット値により上記データが記録済であるか否かを示す情報とされる 光記録媒体。

【請求項 2】

複数の記録層が形成された 1 回データが書込可能なライトワンス型光記録媒体であって、複数の各記録層における所定位置に、データが記録されるブリライトエリアが設けられていると共に、上記各記録層における上記ブリライトエリアに上記データが記録済であるか否かを示す記録済判別情報を記録する判別情報記録領域が設けられ、上記判別情報記録領域に記録される上記記録済判別情報は、上記各記録層のそれぞれに 1 ビットが対応して、上記 1 ビット値により上記データが記録済であるか否かを示す情報とされる光記録媒体に対してデータ記録を行う記録装置において、

上記光記録媒体に対してデータ記録を行う記録手段と、

上記判別情報記録領域における上記記録済判別情報により、上記各記録層の上記ブリライトエリアの記録状態を判別し、当該判別結果に基づいて、全部又は一部の記録層における上記ブリライトエリアに対して、上記データを、上記記録手段に記録させる制御手段と

、

を備え、

上記制御手段は、上記各記録層の上記ブリライトエリアの記録状態の判別結果が未記録の場合、未記録の全部又は一部の記録層における上記ブリライトエリアに対して、上記デ

ータを、上記記録手段に記録させる
記録装置。

【請求項 3】

複数の記録層が形成された 1 回データが書込可能なライトワンス型光記録媒体であって、複数の各記録層における所定位置に、データが記録されるプリライトエリアが設けられていると共に、上記各記録層における上記プリライトエリアに上記データが記録済であるか否かを示す記録済判別情報を記録する判別情報記録領域が設けられ、上記判別情報記録領域に記録される上記記録済判別情報は、上記各記録層のそれぞれに 1 ビットが対応して、上記 1 ビット値により上記データが記録済であるか否かを示す情報とされる光記録媒体に対する記録方法として、

上記プリライトエリアに上記データを記録するデータ記録ステップと、

上記データ記録ステップによる記録に応じて、上記判別情報記録領域における上記記録済判別情報により、上記各記録層の上記プリライトエリアの記録状態を判別し、当該判別結果に基づいて、全部又は一部の記録層における上記判別情報記録領域に上記記録済判別情報を記録する判別情報記録ステップと、

を備え、

上記判別情報記録ステップにおいて、上記各記録層の上記プリライトエリアの記録状態の判別結果が未記録の場合、未記録の全部又は一部の記録層における上記プリライトエリアに上記記録済判別情報を記録する

記録方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】光記録媒体及び記録装置、記録方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は光ディスク等の光記録媒体及び光記録媒体に対する記録装置、記録方法に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明の光記録媒体は、複数の記録層が形成された 1 回データが書込可能なライトワンス型光記録媒体であって、複数の各記録層における所定位置に、データが記録されるプリライトエリアが設けられていると共に、上記各記録層における上記プリライトエリアに上記データが記録済であるか否かを示す記録済判別情報を記録する判別情報記録領域が設けられ、上記判別情報記録領域に記録される上記記録済判別情報は、上記各記録層のそれぞれに 1 ビットが対応して、上記 1 ビット値により上記データが記録済であるか否かを示す情報とされる。

本発明の記録装置は、上記光記録媒体に対してデータ記録を行う記録装置であり、上記

光記録媒体に対してデータ記録を行う記録手段と、上記判別情報記録領域における上記記録済判別情報により、上記各記録層の上記プリライトエリアの記録状態を判別し、当該判別結果に基づいて、全部又は一部の記録層における上記プリライトエリアに対して、上記データを、上記記録手段に記録させる制御手段と、を備え、上記制御手段は、上記各記録層の上記プリライトエリアの記録状態の判別結果が未記録の場合、未記録の全部又は一部の記録層における上記プリライトエリアに対して、上記データを、上記記録手段に記録させる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の記録方法は、上記光記録媒体に対する記録方法であり、上記プリライトエリアに上記データを記録するデータ記録ステップと、上記データ記録ステップによる記録に応じて、上記判別情報記録領域における上記記録済判別情報により、上記各記録層の上記プリライトエリアの記録状態を判別し、当該判別結果に基づいて、全部又は一部の記録層における上記判別情報記録領域に上記記録済判別情報を記録する判別情報記録ステップと、を備え、上記判別情報記録ステップにおいて、上記各記録層の上記プリライトエリアの記録状態の判別結果が未記録の場合、未記録の全部又は一部の記録層における上記プリライトエリアに上記記録済判別情報を記録する。